

I 第5回現場実習

9月16日～10月3日(金)までの3週間、高等部3年生は自分の進路実現をかけた現場実習に挑戦します。9月12日(金)に行われた実習出発式では次のような話をしました。

(1) つかみ取る

進路実現という大きな目標をつかみ取ってほしい。本校の校訓の一つに「希望」があります。様々な機会に声高らかに歌われる「校歌の3番」に「～理想(のぞみ)をいだきはばたこう～」と校訓の一つである「希望」の思いが込められています。

卒業式の校歌斉唱で「～理想(のぞみ)をいだきはばたこう～」と皆さんが思いを込めて声高らかに歌う姿を想像しています。今回の現場実習で実習先から「ぜひ来てください」という「内定」をつかみ取ってほしいと話しました。

(2) 凡事徹底

これまでの学習で、3年生はたくさんの「できること」が増えています。それは何ですか考えてみてください。と問いかけました。学校でできるようになったこと、例えば「挨拶」はできますか?と問いかけると多くの生徒が表情や言葉で「できます」と私に伝えてくれました。

そうであれば「挨拶」「返事」等、学校でできるようになったことは現場実習先でもしっかりとやり抜いてほしい。「凡事徹底」という言葉について話しました。「できることをやり抜く」「いつでも、どこでも、誰にでも」と話をしました。

これは、進路実現をつかみ取るためにとても大切なこと。学校でできるようになったことを実習先でやり抜いて「内定」をつかみ取ってほしいとエールを送りました。

(3) 誘惑に耐える

1学期の終業式や2学期の始業式に「誘惑に耐えることに挑戦してほしい」という話をしました。進路実現をかけた大事な現場実習期間中には現場実習に専念するために、「友達とSNS等で連絡を取らない」「休日は友達と会わない」などのルールがあります。

人から誘われることがあるかもしれない。「実習中だからやめとく」「実習が終わったらね」など人からの誘惑に耐えることや、「諦めたい」「逃げ出したい」という自分の心の誘惑にも耐えること、誘惑に負けてしまうかと思うなら、「スマホ」を家族に預けて誘惑に耐えられるようにするなど、信頼できる人を頼ることに挑戦してほしいと話しました。それは自分で決める、覚悟するということ。

生徒の誘惑に耐える取り組みを応援したいと思います。